

2008年3月期
決算説明会
2008.5.13



高千穂電気株式会社

東証1部 CODE:2715

<http://www.takachiho.co.jp>

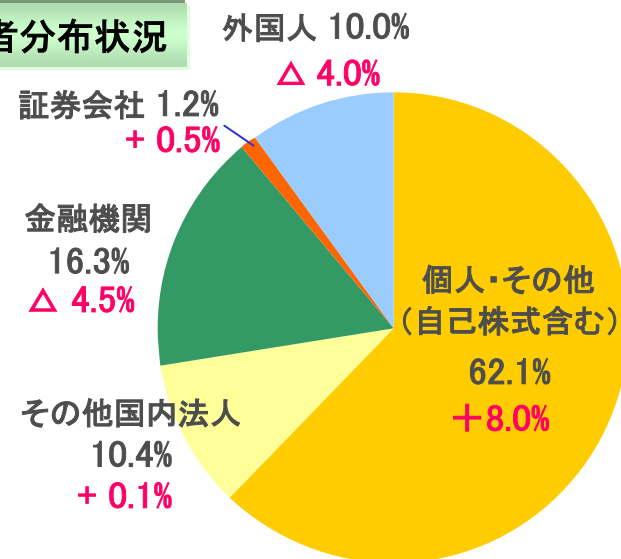
会社概要

商号	高千穂電気株式会社（英訳名 TAKACHIHO ELECTRIC CO.,LTD.）
設立	昭和22年4月（創業 昭和 20年11月）
上場	東証1部 平成17年3月（東証2部:平成15年12月、JASDAQ:平成14年6月）
所在地	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館25階
代表者	代表取締役社長(CEO) <small>さくらい さとし</small> 櫻井 恵
事業内容	独立系エレクトロニクス専門商社
従業員	【連結】957名 【単体】285名
営業拠点	【国内】本社・17支店・2営業所 【海外】22拠点 中国 11拠点、その他アジア 7拠点、 米国 1拠点、欧州 3拠点
資本金	2,142百万円
発行済株式数	18,835千株：1単元100株
株主数	7,147名



本社

所有者分布状況



※上記の各データは2008年3月末現在。営業拠点のみ2008年4月1日現在。

赤字は、07/3末比の数字

高千穂電気 グループ概要

高千穂電気 株式会社

国内販売拠点20ヶ所
海外販売拠点22カ所

加工委託

物流委託

商 品

加工委託

◆ 国内子会社(2社)

	設立	資本金	出資比率
(株)高千穂技研	1979.4	10百万円	100%
タカチホエイブル(株)	1991.1	10百万円	100%

◆ 海外販売会社(12社)

TAKACHIHO SINGAPORE (PTE.),LTD.	1979.9	300千シンガポール\$	100%
高千穂香港有限公司	1994.5	100千香港\$	100%
台湾高千穂股份有限公司	2000.9	3,000千台湾\$	100%
高千穂(上海)国際貿易有限公司	2001.7	5,794千人民元	100%
高千穂貿易(大連保税區)有限公司	2002.4	1,655千人民元	100%
TAKACHIHO ELECTRIC(THAILAND)CO.,LTD.	2002.4	10,000千Bht	100%
高千穂国際貿易(深圳)有限公司	2002.8	2,121千人民元	100%
TAKACHIHO PHILIPPINES, INC.	2004.1	10,000千フィリピン\$	100%
TAKACHIHO KOREA CO.,LTD.	2004.3	490,000千韓国ウォン	100%
高千穂(天津)国際貿易有限公司	2005.4	1,735千人民元	100%
Takachiho USA, Inc.	2006.8	450千US\$	100%
TAKACHIHO CZECH, s.r.o	2006.11	9,000千チェココルナ	100%

◆ 海外加工会社(4社)

高輪科技有限公司	2001.5	12,850千香港\$	48%
蘇州高輪電子科技有限公司	2002.3	19,037千人民元	48%
大連高千穂電子有限公司	2003.8	24,606千人民元	100%
無錫高千穂燦科技有限公司	2005.7	34,620千人民元	60%

(2008年4月1日現在)



2008年3月期 決算報告

過去最高売上高・営業利益を更新

2008年3月期 連結損益計算書

単位:百万円	06/3期	07/3期	08/3期	増減(07/3 vs. 08/3)	
				増減額	増減率
売上高	87,814	96,513	105,724	+ 9,210	+ 9.5%
売上総利益	9,208	10,303	11,088	+ 785	+ 7.6%
売上総利益率	10.5%	10.7%	10.5%	△ 0.2p	—
販売管理費	5,866	6,642	6,913	+ 270	+ 4.1%
販管費比率	6.7%	6.9%	6.5%	△ 0.4p	—
営業利益	3,342	3,660	4,175	+ 514	+ 14.1%
営業利益率	3.8%	3.8%	3.9%	+ 0.1p	—
経常利益	3,832	4,017	3,689	△ 328	△ 8.2%
経常利益率	4.4%	4.2%	3.5%	△ 0.7p	—
当期純利益	2,307	2,632	2,510	△ 121	△ 4.6%
当期純利益率	2.6%	2.7%	2.4%	△ 0.3p	—
連結EPS	119 円 96 銭	140 円 17 銭	133 円 47 銭		
1株当たり年間配当金	31 円 00 銭	36 円 00 銭	41 円 00 銭		
連結ROE	11.8%	12.1%	10.8%		

2008年3月期 連結業績のポイント

○ 過去最高の売上高・営業利益を達成

- ① 2008年3月期まで6期連続で売上高・営業利益、いずれも**過去最高を更新**。
- ② 国内・海外ともに好調に推移し、売上高・営業利益いずれも**対外公表値比を上回る**。
※売上高(対外公表値比): + 5,724百万円 (+ 5.7%)
※営業利益(対外公表値比): + 275百万円 (+ 7.1%)

○ 海外売上高の増加及び売上構成比の上昇

- ① 中国向けの絶縁諸材料等の販売が引き続き好調に推移し、海外売上高は**前期比大幅増**。
※海外売上高: 36,027百万円(前期比 + 4,435百万円) 海外売上構成比: 34.1%(前期比 + 1.4ポイント)

○ 急速な円高による海外通貨建て取引への影響

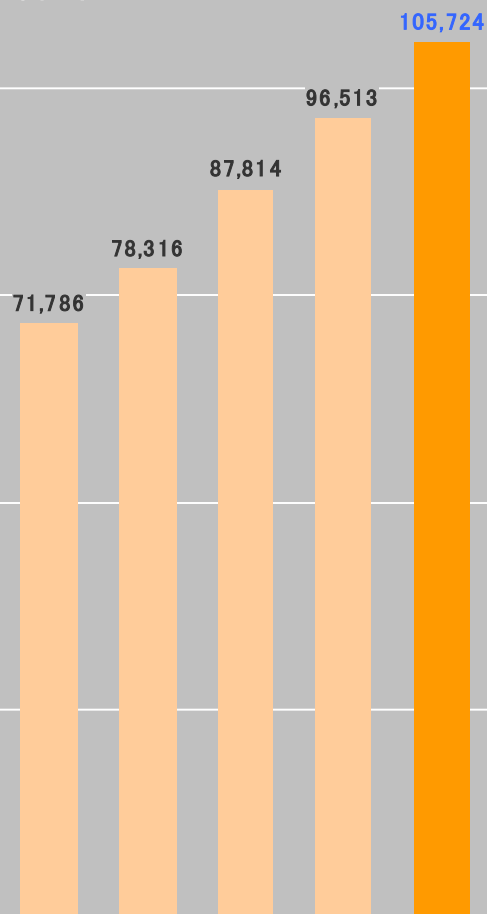
- ① 下半期の急速な円高進行により、営業外費用として通期で為替差損734百万円が発生。
※為替差損額 上半期: 136百万円 下半期: 598百万円

連結業績推移

連結売上高・営業利益ともに、過去最高を更新し、連結売上高は**1000億円**を突破。

連結売上高 推移

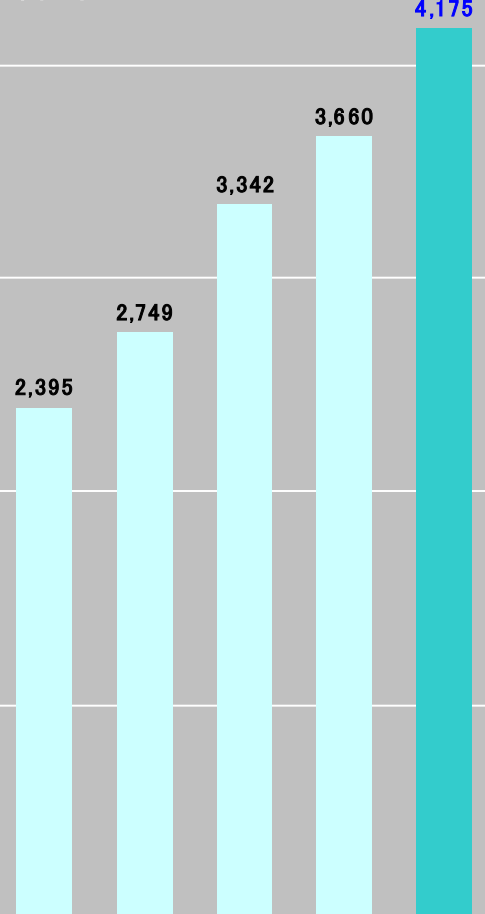
単位:百万円



04/3期 05/3期 06/3期 07/3期 08/3期

連結営業利益 推移

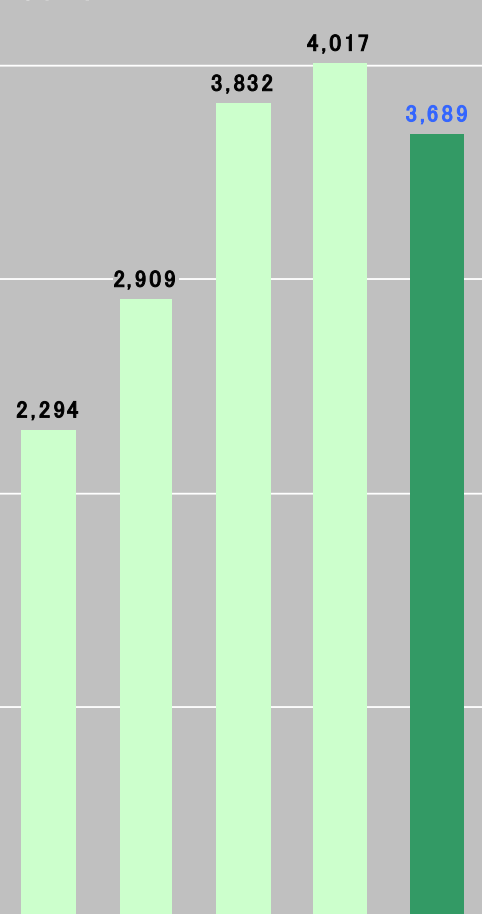
単位:百万円



04/3期 05/3期 06/3期 07/3期 08/3期

連結経常利益 推移

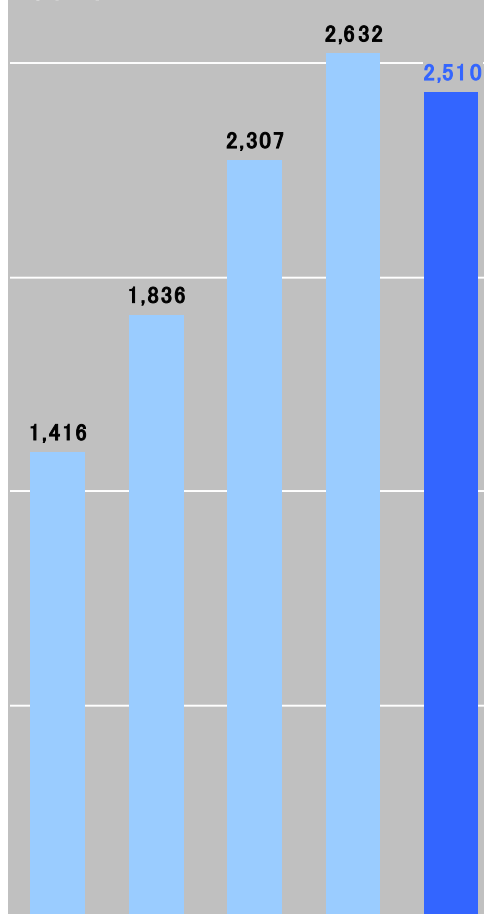
単位:百万円



04/3期 05/3期 06/3期 07/3期 08/3期

連結当期純利益 推移

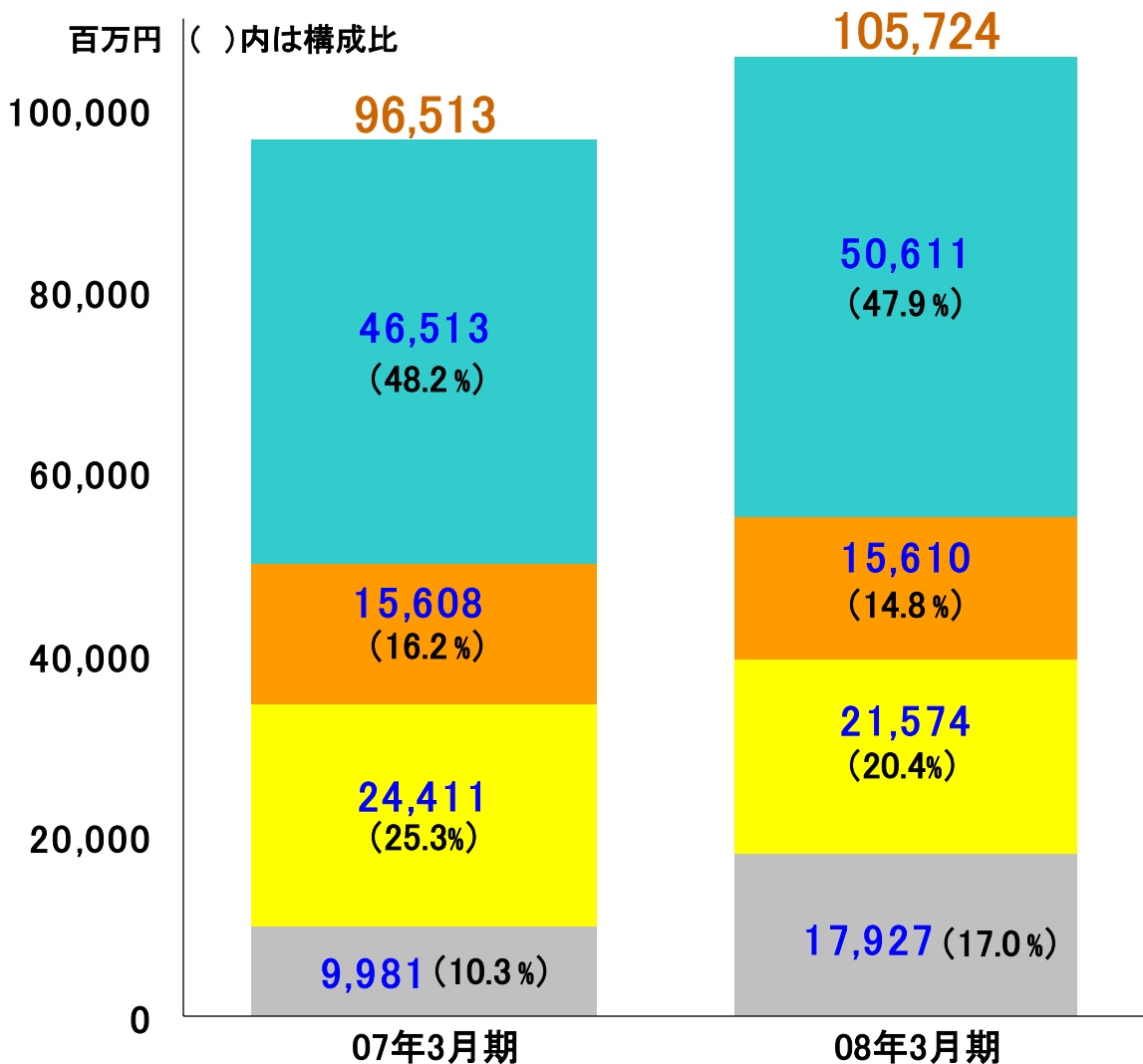
単位:百万円



04/3期 05/3期 06/3期 07/3期 08/3期

品目別売上高情報【連結】

家電等向け絶縁材料が増加し、FPCなど配線材料が大幅増となったことで「電気材料」が増加。
また、携帯電話用成形品を中心とした機構部品の売上増により、「その他」が大幅増加。



◆ 電気材料 前期比 + 4,098百万円

中国など海外向け絶縁材料、国内向け配線材料が大幅増加。

- ・絶縁材料 + 1,958百万円
- ・配線材料 + 2,769百万円
- ・半導体関連 △ 629百万円

◆ 電子部品 前期比 + 2百万円

OA機器向け等の各種センサー部品は微増。
電気部品は携帯電話用コネクタが増加したが、その他が減少。

- ・センサー部品 + 65百万円
- ・電気部品 △ 63百万円

◆ オプティカル部品・材料 前期比 △ 2,837百万円

レンズフィルムは小型が増加したのに対し、大型が減少。
バックライトは、大型・小型ともに減少。

- ・ディスプレイ部品・材料 △ 2,133百万円
- ・光学部品・材料 △ 659百万円

◆ その他 前期比 + 7,946百万円

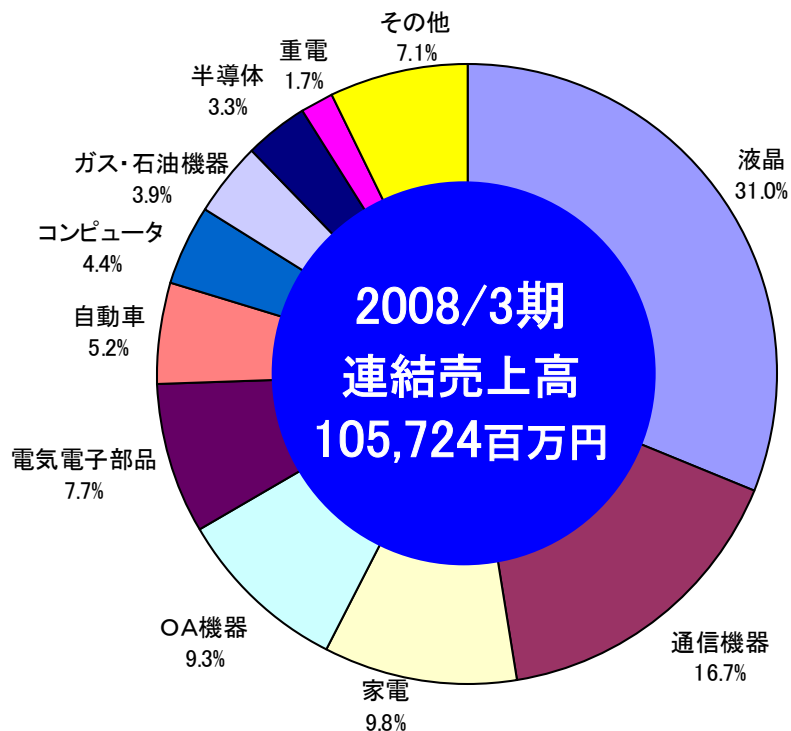
携帯電話用外装品・成形品の増加により、機構部品が大幅に増加。

販売先業種別売上高情報【連結】

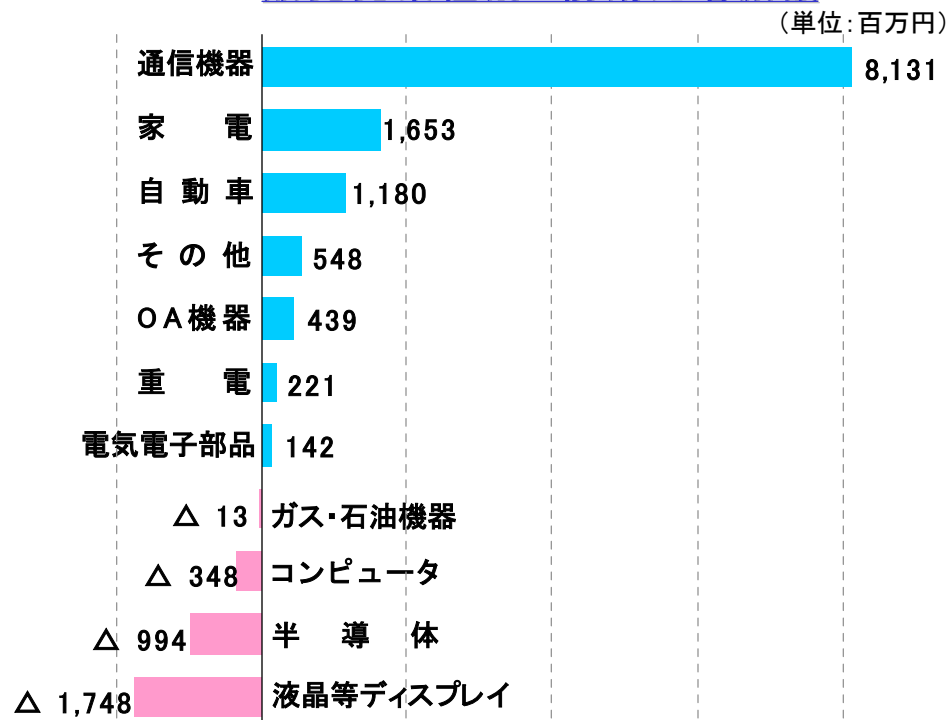
携帯電話等の「通信機器」向けが前年同期比で80%を超える大幅増加。また、「自動車」向けも大幅増となった他、デジタル家電を中心とした「家電」向け、プリンタを中心とした「OA機器」向けも引き続き好調に推移。一方、増加を続けていた「液晶等ディスプレイ」向けが、初めて前年同期比で減少。

販売先業種	液晶等ディスプレイ	通信機器	家電	OA機器	電気電子部品
売上高(百万円)	32,763	17,509	10,377	9,825	8,164
自動車	コンピュータ	ガス・石油機器	半導体	重電	その他
5,456	4,680	4,121	3,522	1,817	7,484

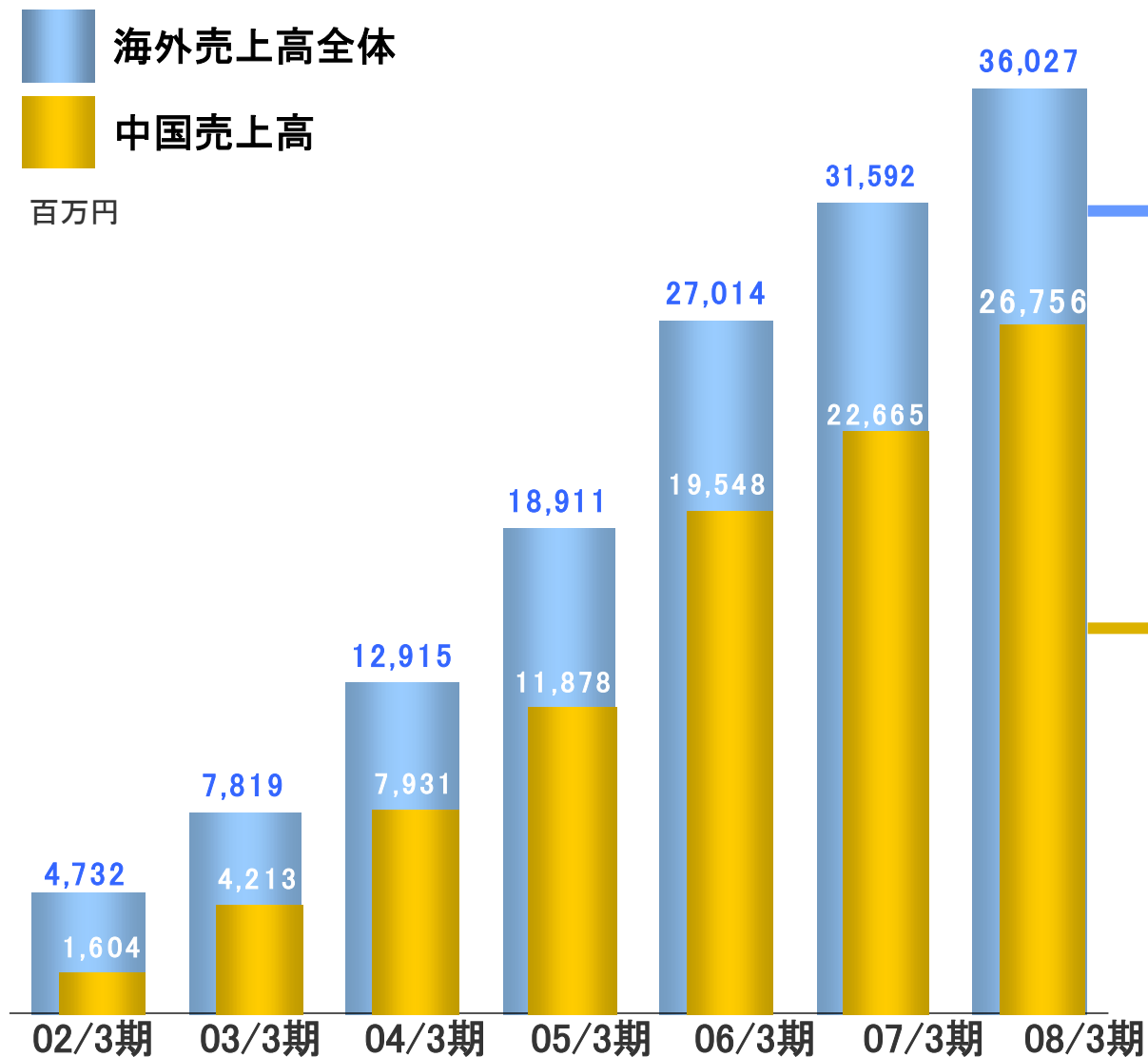
販売先業種別 業種別構成比



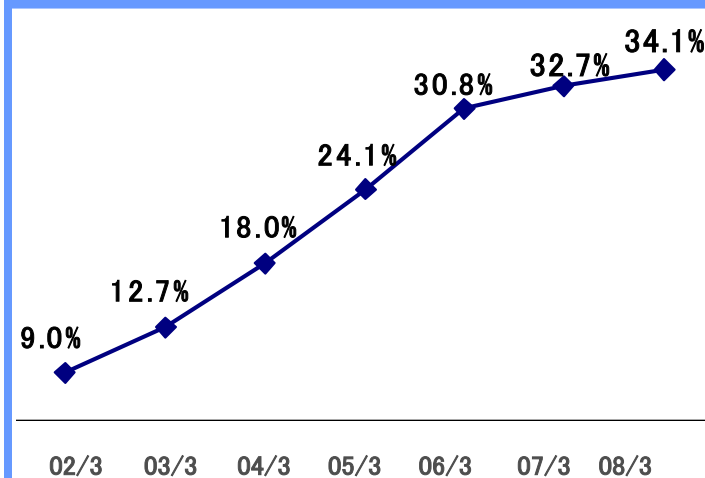
販売先業種別 前期比増減額



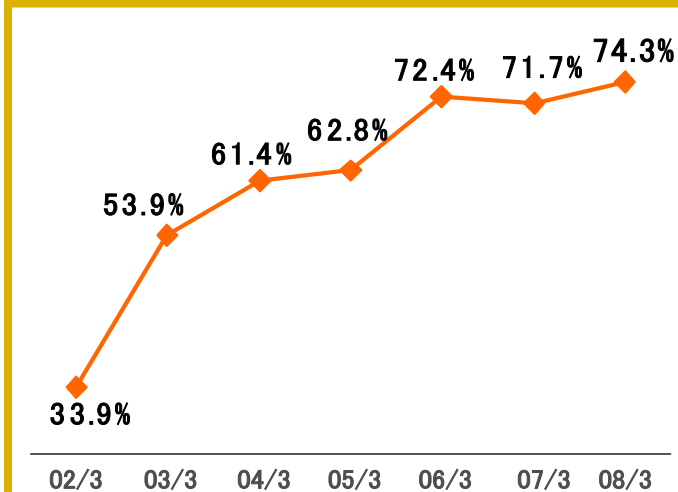
海外売上高推移



連結売上高に占める海外売上高比率



海外売上高に占める中国売上高比率



販管費の状況【連結】

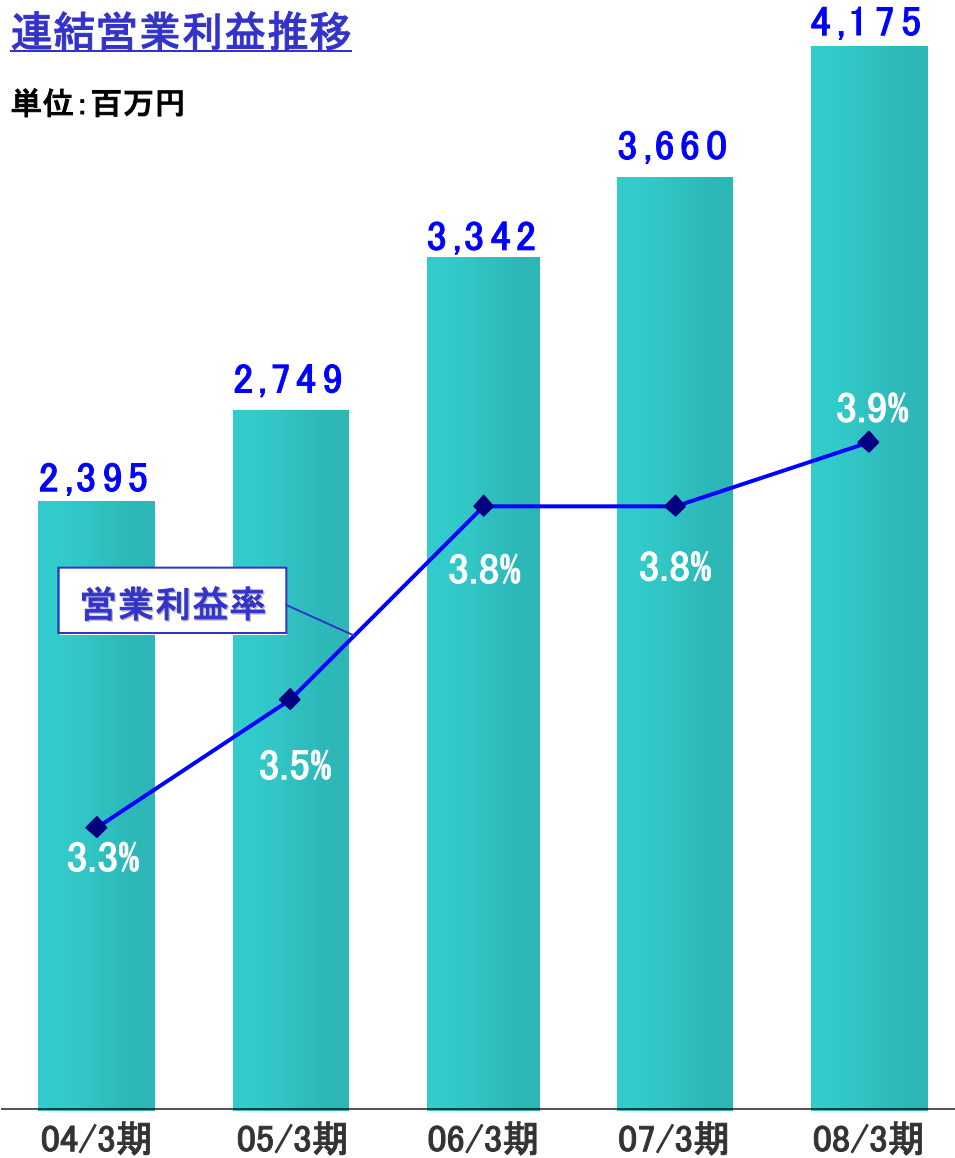
単位：百万円

	07/3期	08/3期	売上高販管費比率 推移
販管費	6,642	6,913 (前期比+270)	06/3期 07/3期 08/3期 6.68% ⇒ 6.88% ⇒ 6.54%
人件費	3,353	3,532 (前期比 +179)	前期末比較で連結従業員は123名増(単体:13名増)。海外営業拠点の増加と単体従業員増により人件費総額は増加したが、増収効果により対売上高比率は、低下。
荷造運賃	793	806 (前期比 +12)	国内売上高増加に加え、前期比で海外売上高比率が増加したことにより微増となったが、増収効果により対売上高比率は低下。
その他	2,495	2,573 (前期比 +78)	海外営業拠点の拡充や、本社移転(06年10月)に伴い支払地代家賃などが増加したが、増収効果により対売上高比率は低下。

連結営業利益および営業利益率

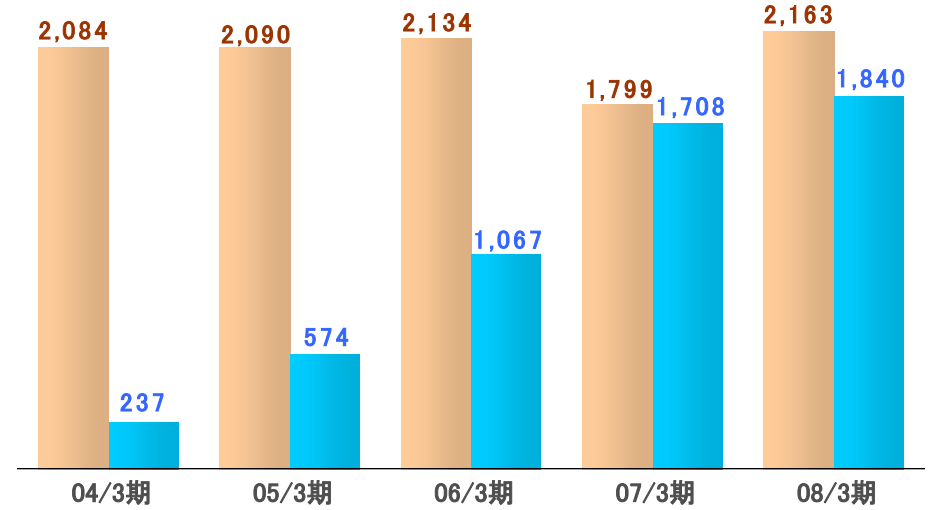
連結営業利益推移

単位:百万円



所在地別セグメント営業利益 推移

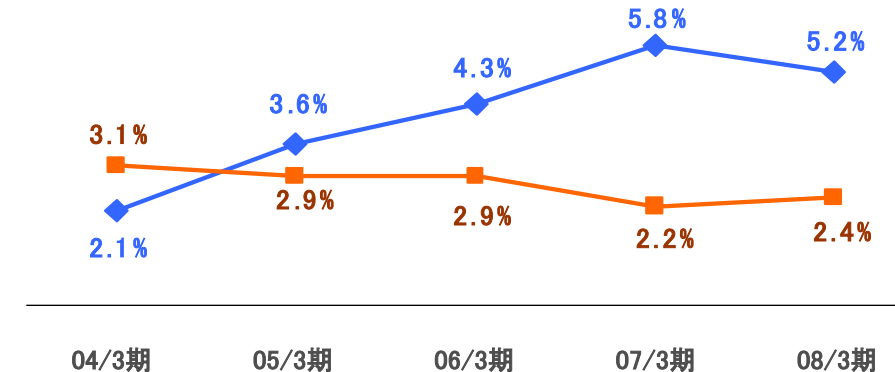
■ 日本 ■ 日本以外



※上図は、『消去又は全社』前の数値であり、合計値と連結営業利益は一致しません。

所在地別セグメント営業利益率 推移

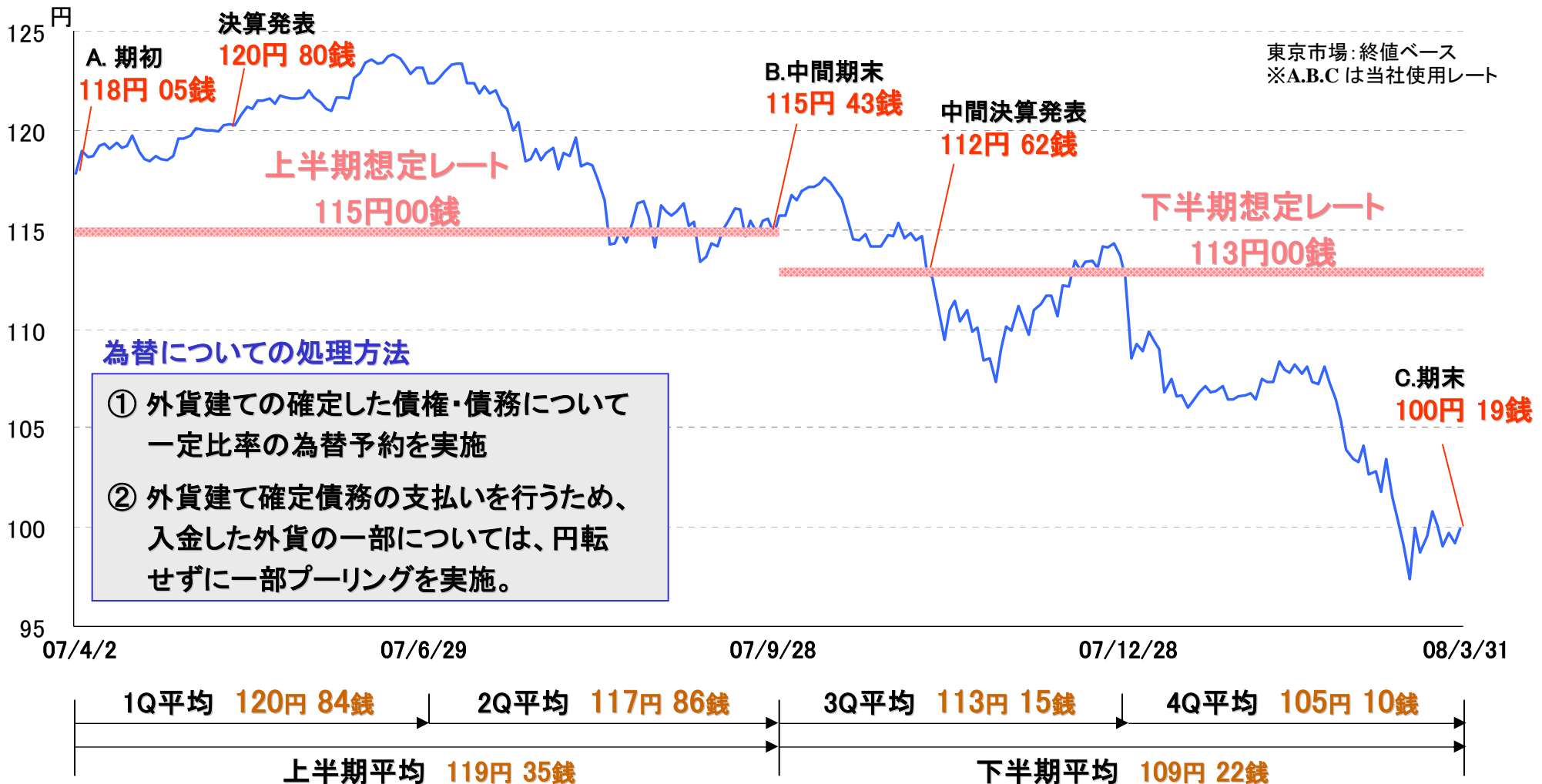
◆ 日本 ◆ 日本以外



営業外費用 為替差損の発生

下半期の急速な円高進行により、営業外費用として通期で為替差損734百万円が発生。

※ 為替差損額 上半期:136百万円 下半期:598百万円



連結 比較貸借対照表

(単位:百万円)	07/3末		08/3末	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	39,789	85.6%	41,872	85.0%
現預金	4,540	9.8%	5,941	12.1%
受取手形・売掛金	30,935	66.5%	31,811	64.6%
たな卸資産	3,367	7.2%	3,092	6.3%
繰延税金資産	206	0.4%	196	0.4%
その他	739	1.5%	829	1.7%
固定資産	6,715	14.4%	7,376	15.0%
有形固定資産 (減価償却累計額)	3,063 (1,877)	6.6%	3,090 (1,859)	6.3%
無形固定資産	122	0.3%	161	0.3%
投資その他の資産	3,528	7.6%	4,125	8.4%
投資有価証券	2,220	4.8%	2,387	4.8%
その他	1,308	2.8%	1,738	3.5%
総資産	46,504	100%	49,249	100%

○ 増 減 額

・総資産 + 2,745百万円	・流動負債 + 1,901百万円
・流動資産 + 2,083百万円	・固定負債 + 8百万円
・固定資産 + 661百万円	・純資産 + 835百万円
	・株主資本 + 1,344百万円

(単位:百万円)	07/3末		08/3末	
	金額	構成比	金額	構成比
負債合計	23,506	50.5%	25,416	51.6%
流動負債	23,163	49.8%	25,064	50.9%
支払手形・買掛金	21,524	46.3%	23,535	47.8%
短期借入金	198	0.4%	154	0.3%
その他	1,440	3.1%	1,374	2.8%
固定負債	343	0.7%	352	0.7%
純資産	22,997	49.5%	23,833	48.4%
株主資本	22,694	48.8%	24,038	48.9%
資本金	2,121	4.6%	2,142	4.4%
資本剰余金	1,997	4.3%	2,018	4.1%
利益剰余金 他	18,574	39.9%	19,877	40.4%
評価換算差額等	55	0.1%	△ 468	△ 1.0%
少数株主持分	247	0.6%	263	0.5%
負債純資産合計	46,504	100%	49,249	100%

○ 財務指標

・有利子負債比率	0.9% ⇒ 0.7%
・自己資本比率	48.9% ⇒ 47.9%
・売上債権回転期間	3.63ヶ月 ⇒ 3.63ヶ月
・たな卸資産回転期間	0.41ヶ月 ⇒ 0.37ヶ月
・買入債務回転期間	2.53ヶ月 ⇒ 2.56ヶ月

キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:百万円)	07/3期 06/4~07/3	08/3期 07/4~08/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	101	3,994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18	△ 1,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 682	△ 1,218
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	△ 285
現金及び現金同等物の増減	△ 518	1,143
現金及び現金同等物の期末残高	4,540	5,684

営業CFの内訳

(単位:百万円)	07/3期	08/3期
税引前当期純利益	4,120	3,689
減価償却費	232	320
売上債権の増加額	△ 4,624	△ 1,376
たな卸資産増減額	△ 81	209
仕入債務増加額	2,215	2,522
その他	△ 418	△ 203
小計	1,444	5,161
利息・配当金受払	146	120
法人税等支払額	△ 1,488	△ 1,287
営業CF計	101	3,994

○ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上高の増加により、売上債権額(営業CF:△)・仕入債務額(営業CF:+)ともに拡大。
前期末が銀行休業日だったことによる影響により、売上債権の増加額が減少。

○ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産・投資有価証券の取得による支出(投資CF:△)
投資不動産の取得及び取得に関わる支出(投資CF:△)

○ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払(財務CF:△)
自己株式の取得による支出(財務CF:△)



2009年3月期 通期業績予想

前期比増収・増益を達成する見込み

2009年3月期 連結業績予想

【通期】

(単位:百万円)	08/3期 実績	09/3期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	105,724	107,000	+ 1,275	+ 1.2%
営業利益	4,175	4,200	+ 24	+ 0.6%
経常利益	3,689	4,200	+ 510	+ 13.8%
当期純利益	2,510	2,750	+ 239	+ 9.5%
連結EPS	133 ^円 47 ^銭	148 ^円 44 ^銭	+ 14 ^円 97 ^銭	+ 11.2%
1株当たり年間配当金	41 ^円 00 ^銭	45 ^円 00 ^銭	+ 4 ^円 00 ^銭	+ 9.8%

	08/3期	⇒	09/3期(予)
【営業利益率】	3.9%	⇒	3.9%
【経常利益率】	3.5%	⇒	3.9%
【当期純利益率】	2.4%	⇒	2.6%
【R O E】	10.8%	⇒	11.2%

【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)	08/3期 実績	09/3期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	51,945	52,000	+ 54	+ 0.1%
営業利益	2,044	2,050	+ 5	+ 0.3%
経常利益	2,038	2,050	+ 11	+ 0.6%
当期純利益	1,324	1,350	+ 25	+ 1.9%
1株当たり中間配当金	20 ^円 00 ^銭	20 ^円 00 ^銭	- 円 - 銭	- %

業績予想のポイント

○ 前期比増収・増益となる見込み

- ① 携帯電話向け配線材料等の落ち込みを海外向け絶縁材料及びTV用部材等の拡販でカバーし、売上高・営業利益は、**前期比増収増益**を確保。
- ② 経常利益・当期純利益は、いずれも**向上する**見込み。(想定為替レート「1ドル=100円」)

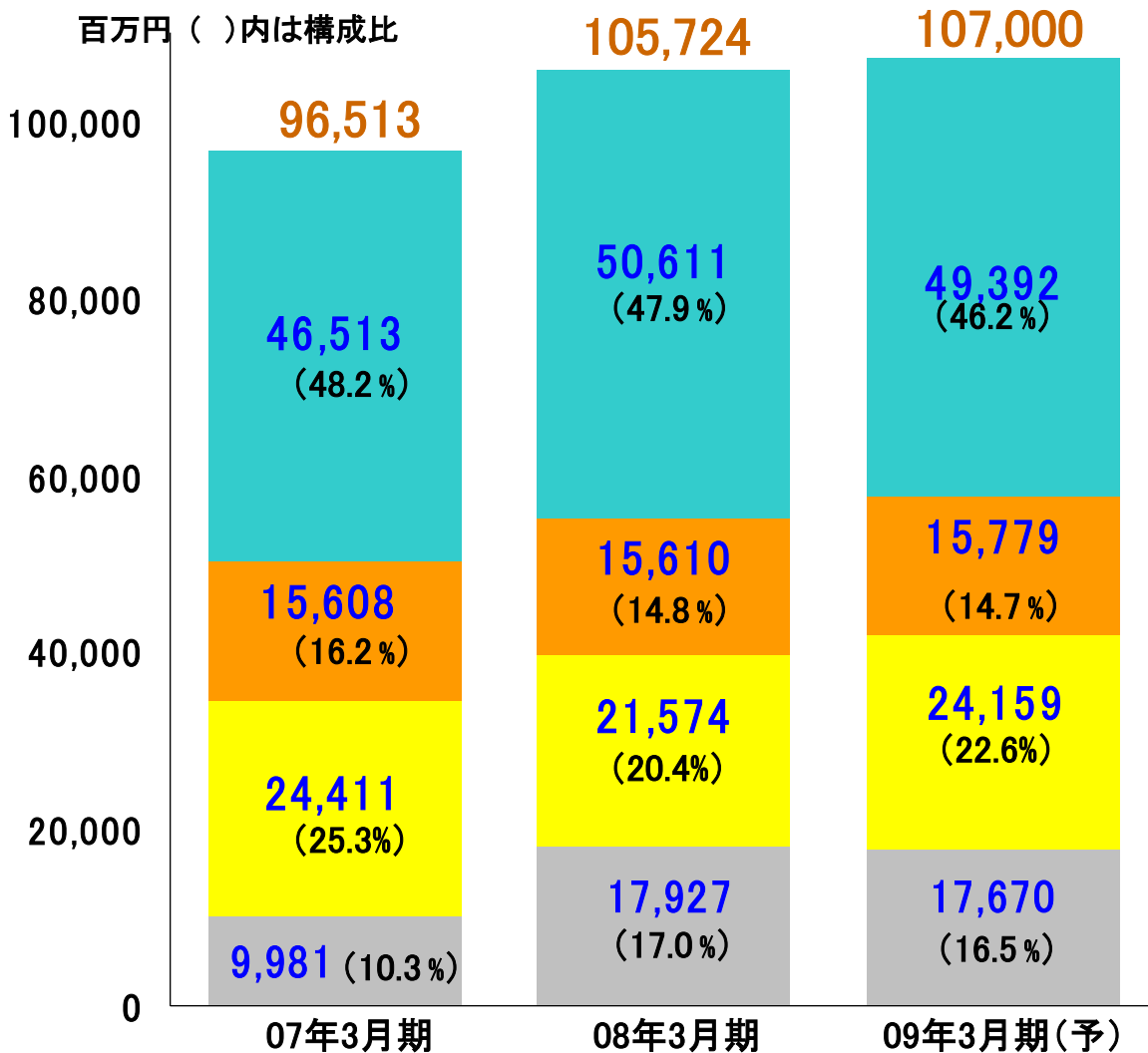
	2008年3月期	2009年3月期(予)	
※ 経常利益(利益率):	3,689百万円 (3.5%)	⇒ 4,200百万円 (3.9%) 前期比: + 510百万円
※ 当期純利益(利益率):	2,510百万円 (2.4%)	⇒ 2,750百万円 (2.6%) 前期比: + 239百万円

○ 前期比予想 上半期:横這い、下半期:増加

- ① 市場動向、エレクトロニクス・メーカーの業績予想の状況などを鑑み、当期の業績予想においては、前年同期比で上半期は横ばい、下半期は増加という前提で策定。
 ※ 下半期は、為替差損の発生防止により、経常利益・当期純利益は前期比大幅増の見込み。

連結業績予想詳細 品目別売上高情報

家電等向け絶縁材料が増加する一方、配線材料が減少し、「電気材料」全体では減少。
「オプティカル部品・材料」は、TV用部材等が増加。



◆ 電気材料 Δ 1,220百万円

海外向け絶縁材料が増加。国内向け配線材料が減少。

- ・絶縁材料 + 1,529百万円
- ・配線材料 Δ 2,970百万円
- ・半導体関連 + 221百万円

◆ 電子部品 + 168百万円

OA機器向け等の各種センサ部品が増加する一方、携帯電話用コネクタ等の電気部品が減少。

- ・センサー部品 + 419百万円
- ・電気部品 Δ 251百万円

◆ オプティカル部品・材料 + 2,584百万円

レンズフィルムは引き続き減少。一方、TV用部材等が増加。

- ・ディスプレイ部品・材料 + 2,151百万円
- ・光学部品・材料 + 414百万円

◆ その他 Δ 257百万円

携帯電話用外装品・成形品が減少。

連結業績予想詳細 国内・海外売上高

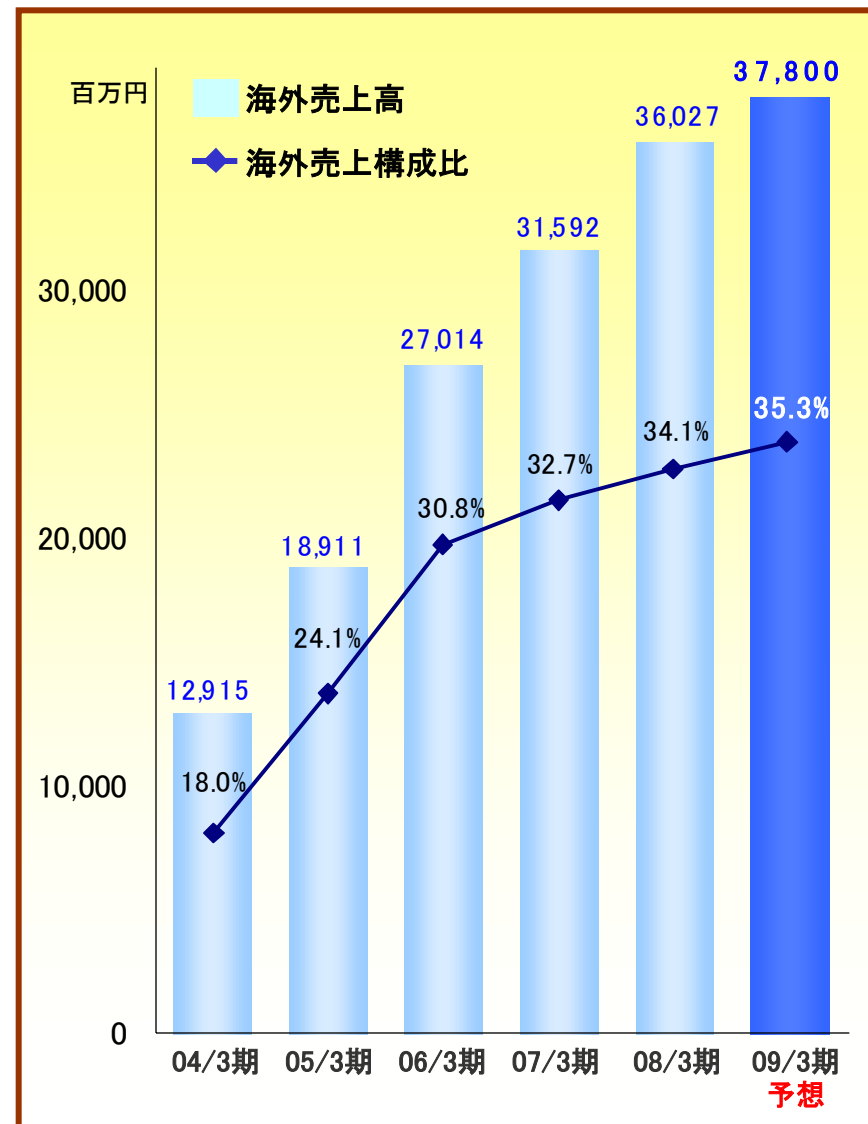
◆ 国内・海外 売上区分

単位:百万円	08/3期 実績		09/3期 予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
国内売上高	69,697	65.9%	69,200	64.7%	△ 0.7%
海外売上高	36,027	34.1%	37,800	35.3%	+ 4.9%
中国(香港含む)	26,756	25.3%	27,500	25.7%	+ 2.8%
その他アジア	8,701	8.2%	9,000	8.4%	+ 3.4%
その他	570	0.5%	1,300	1.2%	+ 128.1%
連結売上高合計	105,724	100.0%	107,000	100.0%	+ 1.2%

◆ 海外売上高内 構成比

	08/3期 実績	09/3期 予想	増減率
中国(香港含む)	74.3%	72.8%	△ 1.5p
その他アジア	24.2%	23.8%	△ 0.4p
その他	1.6%	3.4%	+ 1.8p
海外売上高	100.0%	100.0%	—

海外売上高・売上構成比 推移



連結業績予想詳細 所在地別セグメント

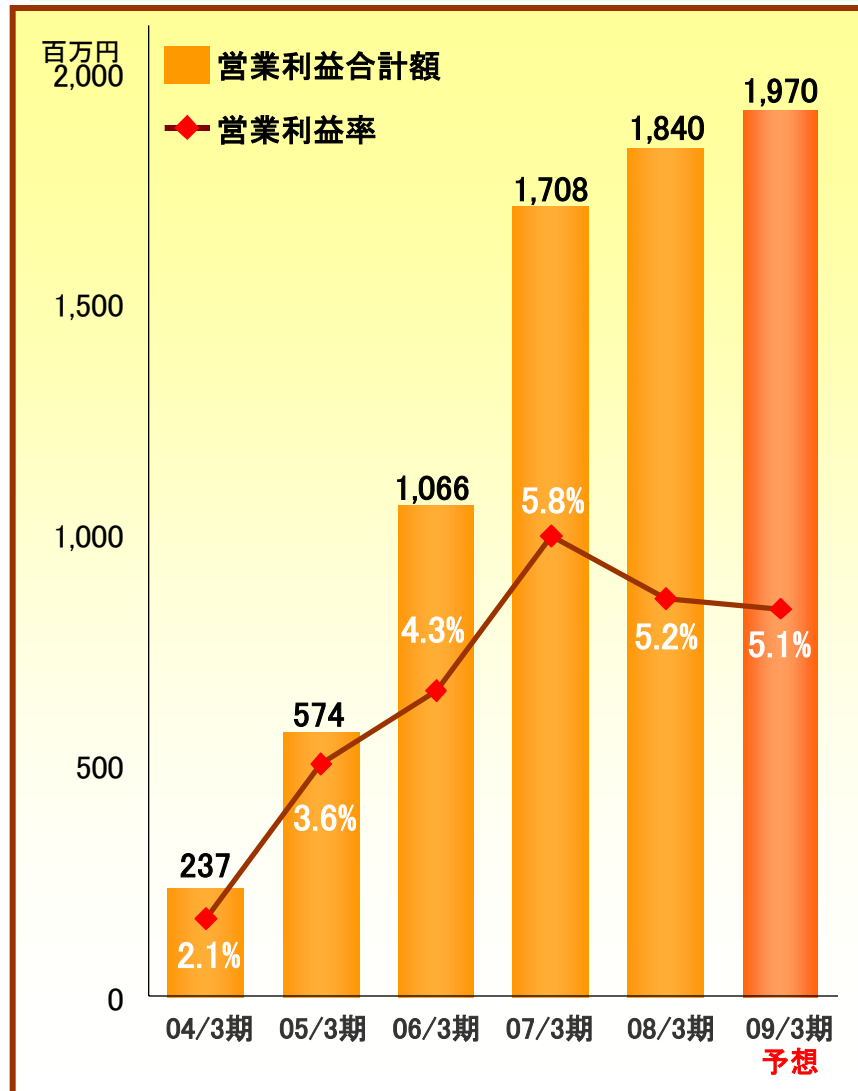
◆ 所在地別セグメント売上高

単位:百万円	08/3期 実績		09/3期 予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	90,662	71.8%	92,000	70.3%	+ 1.5%
日本国外	35,663	28.2%	38,800	29.7%	+ 8.8%
中国(香港含む)	25,437	20.1%	27,500	21.0%	+ 8.1%
その他アジア	9,664	7.7%	10,000	7.6%	+ 3.5%
欧米	561	0.4%	1,300	1.0%	+ 131.5%
消去又は全社	△ 20,600	—	△ 23,800	—	—

◆ 所在地別セグメント営業利益

単位:百万円	08/3期 実績		09/3期 予想		増減率
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
日本	2,163	2.4%	2,100	2.3%	△ 2.9%
日本国外	1,840	5.2%	1,970	5.1%	+ 7.0%
中国(香港含む)	1,350	5.3%	1,450	5.3%	+ 7.3%
その他アジア	525	5.4%	525	5.3%	△ 0.1%
欧米	△ 35	—%	△ 5	△ 0.4%	—%
消去又は全社	172	—	130	—	—

国外(中国・その他アジア、欧米) 営業利益・利益率推移



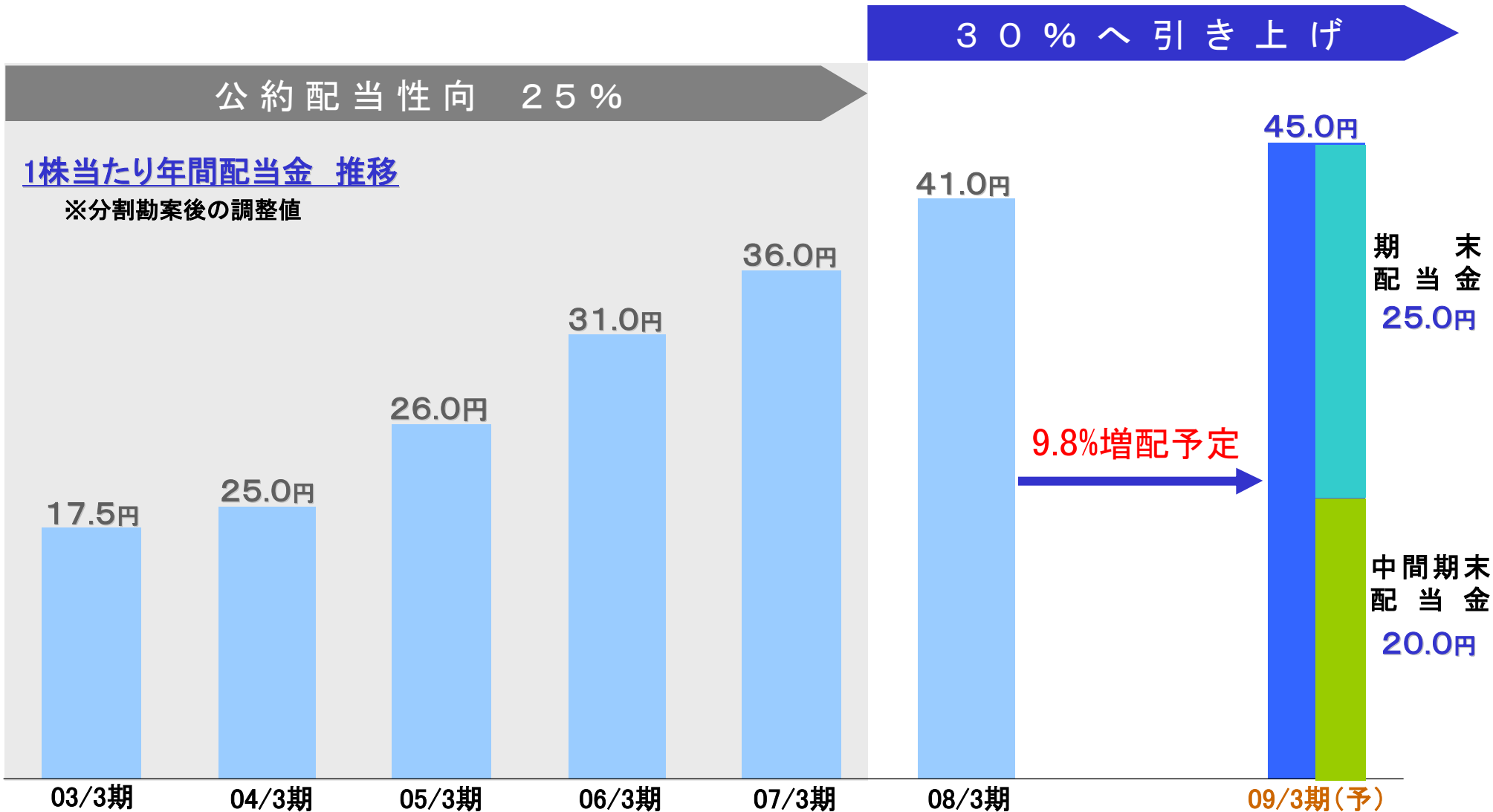
連結業績予想詳細 想定為替レート

- ① 当期業績予想において、「1ドル=100円」を想定為替レートとして策定。
- ② 急激な為替変動に対応する為、外貨建取引における為替予約のカバー率を上げる事等により、為替差損の発生リスクを低減。



株主への利益還元（配当政策）

株主の皆様への利益還元策をより強化するため、平成19年度（2008年3月期）決算から従来の連結1株当たり当期純利益の25%から、**30%へと公約配当性向の引き上げを実施。**

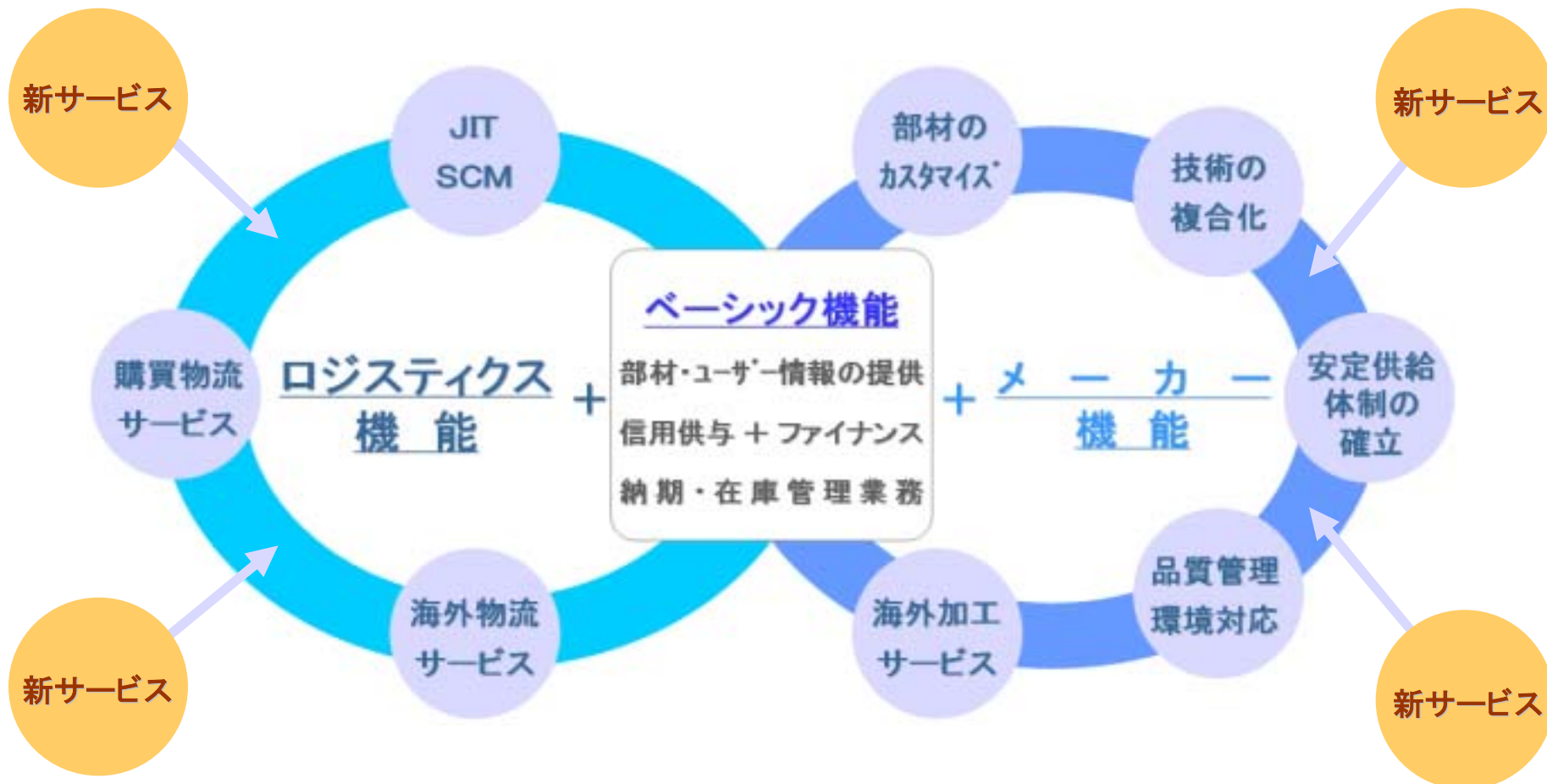




今 後 の 戦 略

「ものづくりのより良きパートナー」を目指して

今後も、常に新しいサービス、複合的なサービスを提供することで、お客様の「ものづくりのより良きパートナー」を目指してまいります。



今期以降の施策

施策 1

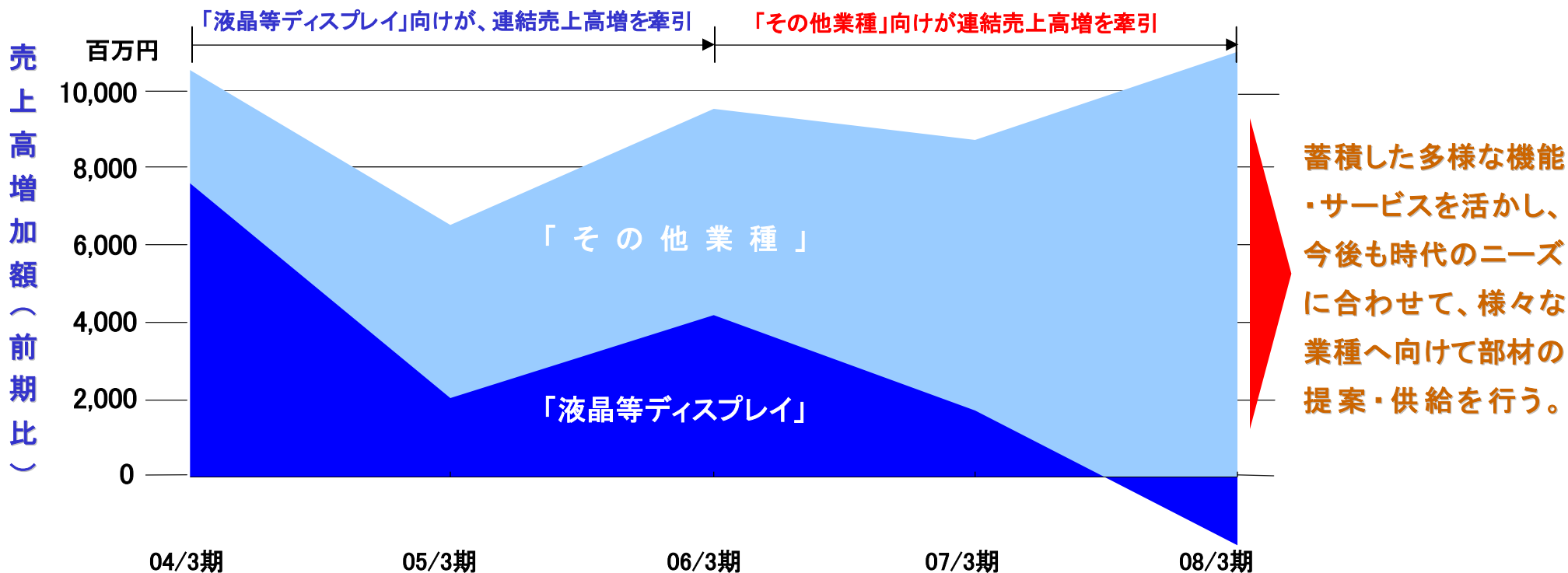
業種・商品の多様化

施策 2

グループネットワークを利用した
ソーシングサービスの提供

多様な業種に部材を供給し、継続的な成長を図る

近年の当社の売上拡大に貢献してきた「液晶等ディスプレイ」向けが、08/3期に初めて減収となったが、「その他業種」向け売上高の増加で補う形となり、連結売上高は過去最高を更新。今後も、こうした方向性を推し進め、多様な業種での売上拡大を図ることで、継続的な成長力を維持していく。



前期比 (単位:百万円)	04/3期		05/3期		06/3期		07/3期		08/3期	
	増加額	構成比	増加額	構成比	増加額	構成比	増加額	構成比	増加額	構成比
連結売上高 増加額	10,508	100.0%	6,530	100.0%	9,497	100.0%	8,699	100.0%	9,210	100.0%
液晶等ディスプレイ	7,583	72.2%	2,014	30.9%	4,184	44.1%	1,698	19.5%	△ 1,748	△ 19.0%
その他業種	2,925	27.8%	4,515	69.1%	5,312	55.9%	7,001	80.5%	10,958	119.0%

自動車業界への注力

営業拠点の拡充

自動車業界に対する営業力強化に向けて、刈谷支店を開設



商品戦略（部材の供給）

各種内外装部品を供給

ECU エアコン ケーブル ドアミラー
 バッテリー ヘッドライト・リアコンビネーションランプ・ウインカー

メーター・ヘッドアップディスプレイ

ディスプレイ関連

ヒーターコントロールパネル

LED関連製品

ナビゲーション・オーディオ

機構部品・外装品への取組み強化

薄型TV、携帯電話、デジカメなどの機構部品・外装品の取扱い拡大に向けて、取組みを強化。

薄型液晶 or 薄型プラズマ TV

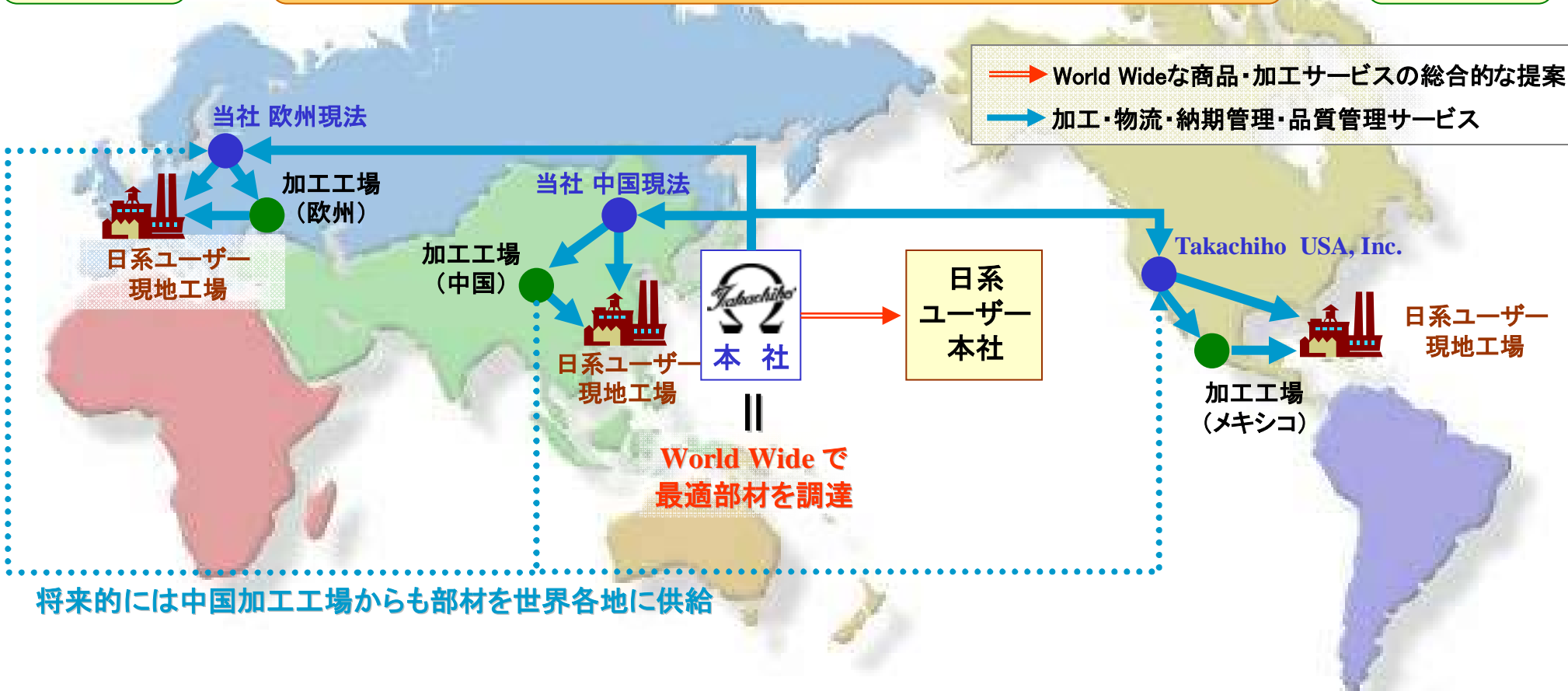
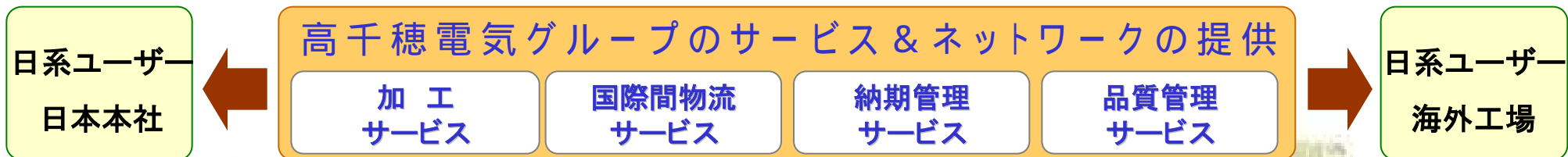


携 帯 電 話



グループ・ネットワークを利用したソーシング・サービスの提供

グループのネットワークを利用した総合的なソーシング・サービスをユーザー企業(顧客)に提供することでユーザー・メリットを創出するとともに、関係強化を図る。



海外営業ネットワークの拡充

海外物流においても、国内と同様のきめ細かいサービス・機能を提供

海外営業拠点

22ヶ所

- 中国 11拠点
- その他アジア 7拠点
- 米国 1拠点
- 欧州 3拠点



海外拠点開設の状況



- 1979 シンガポール事務所 開設(現在は法人化)
- 1994 香港事務所 開設(現在は法人化)
- 1998 フィリピン事務所 開設(現在は法人化)
- 1999 台北事務所 開設(現在は法人化)
- 2000 上海事務所 開設(現在は法人化)
- 2002 高千穂貿易(大連保税区)有限公司 設立
- 2002 蘇州事務所 開設
- 2002 深圳事務所 開設(現在は法人化)
- 2002 TAKACHIHO ELECTRIC(THAILAND)CO.,LTD. 設立
- 2003 天津事務所 開設(現在は法人化)
- 2003 杭州事務所 開設
- 2004 TAKACHIHO KOREA CO.,LTD. 設立
- 2004 珠海事務所 開設
- 2005 ホーチミン駐在事務所 開設
- 2005 北京事務所 開設
- 2005 ハノイ駐在事務所 開設
- 2005 広州事務所 開設
- 2006 厦門事務所 開設
- 2006 Takachiho USA, Inc. 設立
- 2006 TAKACHIHO CZECH, s.r.o 設立
- 2007 デュッセルドルフ駐在事務所 開設
- 2007 TAKACHIHO CZECH, s.r.o ポーランド支店 開設

今後も海外拠点の拡充を図っていく

品質・環境マネジメント機能の提供

ユーザー・メーカーのニーズに対応し、「工場の実地監査」「品質管理監査」の実施を行うなど、従来以上に品質・環境マネジメントへの対応に注力。

ユーザー・メーカーのニーズ

購入資材の価格競争力
と
品質安定の両立

効率的な環境マネジメント
の取り組み強化

高千穂電気グループ

提供するファンクション

顧客ニーズに適合した機能提供を行い、部材受注の拡大・シェア獲得

工場の実地監査の実施

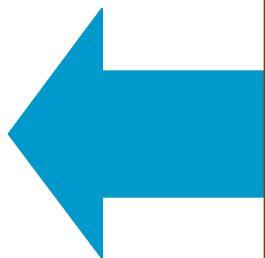
ユーザー毎の品質・環境基準
に対応した部材納入

部材調達先の最適製造ライン
とトレーサビリティの確保

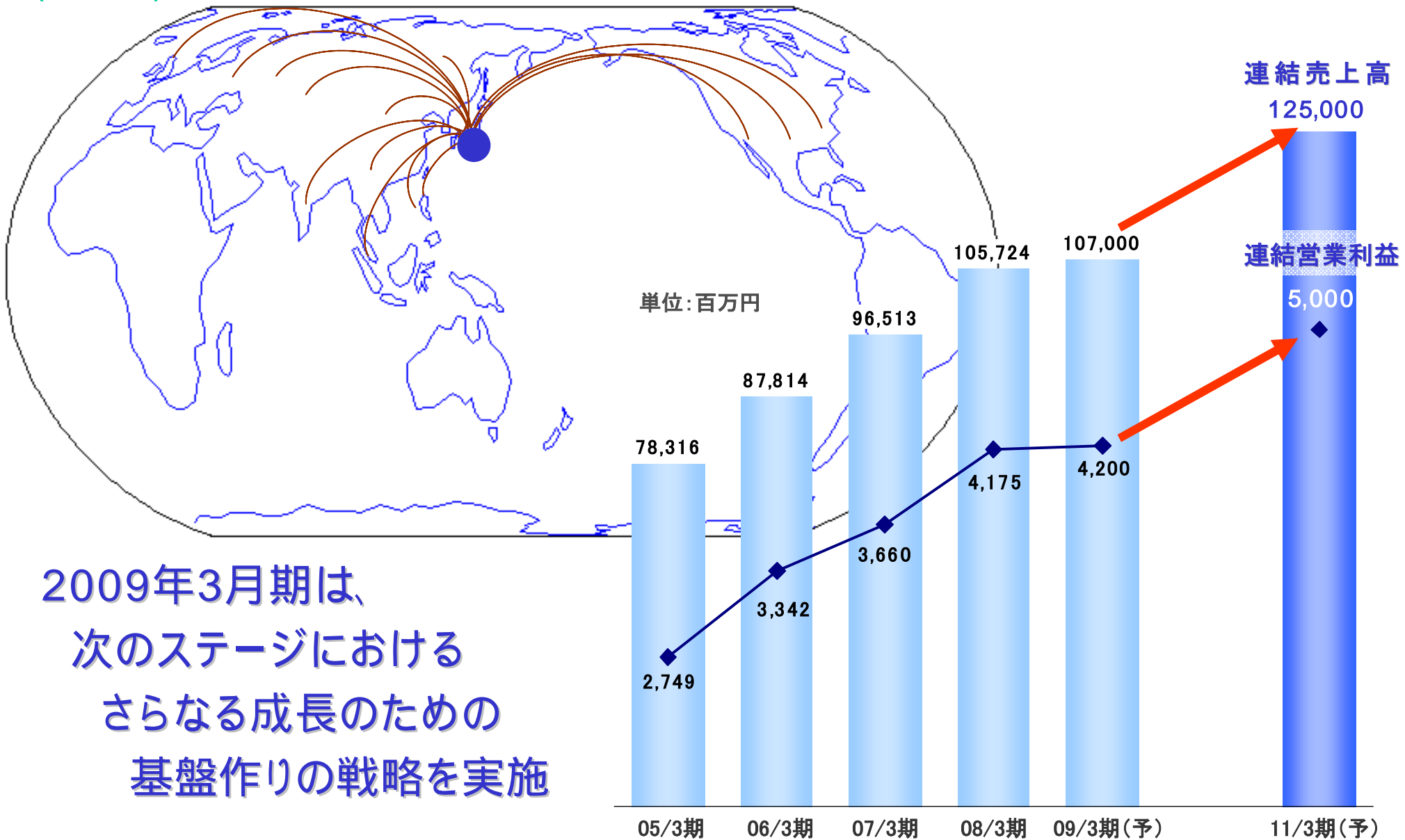
品質管理監査の実施

不良品発生時の
迅速かつ的確な対応

環境関連・品質関連の測定
・分析機能(高千穂技研)



中期利益計画



2009年3月期は、
次のステージにおける
さらなる成長のための
基盤作りの戦略を実施

最後に

国内外で、顧客であるエレクトロニクス・メーカーに
複合的なサービス提供を行っていくことにより、
「ものづくりのより良きパートナー」を目指してまいります。

企業価値の向上に向けた各種施策を実施するとともに、
株主の皆様に対して、業績に連動した利益還元を行い、
上場企業としての責務を果たしてまいります。

【IR窓口】 磯上 ・ 深水

Tel:03-3454-3526 Fax:03-3454-3634

Email:ir@takachiho.co.jp

<http://www.takachiho.co.jp/>

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は決算データ・会社データについては2008年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後、予告なしに変更されることがあります。